

RFMD ニュース



rfmd.com

会社連絡先:

RF Micro Devices Inc.

Brian K. Cockman, Public Relations Specialist

7628 Thorndike Road

Greensboro, NC 27409-9421, USA

電話: +1 (336) 678-8945

bcockman@rfmd.com

POLARIS™ 2 TOTAL RADIO™モジュールの新規採用が続く POLARIS 2 は業界一の EDGE 端末用トランシーバ・ソリューション

バルセロナ(スペイン)、2007年2月 14日: 移動通信駆動用各種アプリケーション向けの高性能無線システム/ソリューションを設計、製造し業界をリードするRFMD社(ナスダック:RFMD)は本日、複数の新設計EDGE端末にPOLARIS™ 2 TOTAL RADIO™モジュールが採用されたことを明らかにした。RFMD社のPOLARIS 2およびPOLARIS 2無線モジュール・トランシーバ・ソリューションはEDGE端末で業界一の売上げを誇るソリューション。

これら新設計への採用は、最先端ベースバンド・メーカーによる携帯端末の基準設計に RFMD 社が参加したことによる。RFMD 社の POLARIS 2 無線モジュールは各種基準設計に対応しており、同社ではベースバンド・メーカーや主要携帯端末メーカーとの広範なパートナーシップを通じ、新設計への採用が更に増えると予想している。

これら POLARIS 2 対応の携帯端末はミドルクラスの新型マルチメディア・モバイル・デバイスで、今年後半に市場に投入され、2008 年には年間を通じて量産される予定。POLARIS を採用した携帯端末は 2006 年、ローエンドの電話置き換え用から多機能マルチメディア端末まで、ほとんど全クラスで合計約 5 千万台出荷されたが、2007 年は年間を通じ、低価格の電話置き換え用から多機能マルチモード端末まで、POLARIS 2 無線モジュールを使う新型端末が他にも次々と登場するものと RFMD 社では期待している。

RFMD 社は、携帯端末の主要 OEM メーカー、ODM メーカー、ベースバンド・パートナーに対しシステムレベルの革新的な技術を提供することで新規設計への同社トランシーバの採用を勝ち取ってきた。RFMD 社の革新的なトランシーバ・ソリューションは、次世代 EDGE やマルチモード WCDMA/EDGE 端末の RF 系の複雑化を緩和して製品化リードタイムの短縮やコスト削減に役立っている。同社の今後のトランシーバ・ソリューションには RF シールドの内蔵や DigRF 3G への適合など、更なる革新技術が加わる。なお、同社は DigRF ワーキング・グループの設立メンバーで、現在も DigRF 3G 開発の先頭に立っている。

RFMD 社は、POLARIS 2 TOTAL RADIO を 2007 年 2 月 12~15 日にバルセロナで開催される 3GSM ワールドコンGRESS 2007 に出品する。会場はホール 8 で、同社のブースは 8B79。

RFMD 社について RF Micro Devices, Inc. (NASDAQ RFMD)社は移動通信の主要アプリケーション向けに高性能な無線システム/ソリューションの設計、製造を行う会社で、この業界のグローバル・リーダー。

RFMD 社のパワーアンプ、送信モジュール、携帯電話用トランシーバ、およびシステム・オン・チップ (SOC) ソリューションは現在および次世代の携帯端末、基地局、無線ローカルエリアネットワーク (WLAN)、無線パーソナルエリアネットワーク (WPAN)、全地球測位システム (GPS) などの最新機能をサポートし、全世界的なモビリティの向上と接続性の拡大に寄与するもの。最先端の半導体技術による幅広い製品ラインと無線システムの豊富な経験で定評のある RFMD 社は、現在および将来の市場要求を満たす最新無線機能のサプライヤーとして、世界中の主要な移動通信機器メーカーから選ばれている。

ノースカロライナ州グリーンズボロに本社を置く RFMD 社は ISO 9001 および ISO 14001 の認証取得済みのメーカーで、世界各地にエンジニアリング、設計、販売、サービスの拠点を持つ。RFMD 社は RFMD 銘柄で米ナスダックグローバルセレクト市場に上場しています。なお詳しい情報は RFMD 社のホームページ、www.rfmd.com に紹介されている。

このプレス・リリースには、1995 年米国私募証券訴訟改革法 (Private Securities Litigation Reform Act) がその免責条項として定める「将来的な予測」が含まれています。この「将来的な予測」には当社の計画、目的、説明、主張などについて、またはそれ以外についての記述が含まれていますが、これらの記述は歴史的な事実ではなく、通常は「可能」、「必要」、「予測」、「期待」、「予定」、「計画」、「推測」、「確信」、「推定」、「予想」、「可能性」、「継続」などの用語や類似の用語とともに使用されています。またこれらとは別の表現で「将来的な予測」が記述される場合もあります。この文書に含まれている「将来的な予測」の記述は現時点における経営陣の判断や期待を表していますが、実際の成果や出来事、業績などはこれら記述で表現されたり暗示されたりした内容とは実質的に異なる場合もあります。当社は米国連邦証券取引法により要求される場合を除き、これら「将来的な予測」の記述内容を改訂したり、あるいはその記述の改訂を公表したりする意図を持っていません。RF マイクロデバイス社の事業には多くのリスクや不確実性が内在しており、その内容には四半期毎の経営成果の変動、無線関連市場の発展や成長率、ウェハ製造施設、分子線エピタキシー施設、組み立て施設、試験、テープ、リール施設など各種製造施設の稼働に関するリスク、熟練技術者や開発リーダーを採用・確保する当社の能力、生産歩留りの変動、革新的技術によりコストを削減し正味利益率を改善する能力、新製品を市場に投入する能力、顧客の在庫センターを通して行う委託販売への依存性、製品需要に即応したタイムリーな生産能力の調整を行う能力、限られた顧客への依存性、サードパーティへの依存性などが含まれています。上記以外も含むこれらリスクや不確実性については米国証券取引委員会の様式 10-K に従った RF マイクロデバイス社の最新アニュアルレポートの中で説明されていますが、このような不確実性のため、これら記述の表現や暗示による内容と実際の成果や出来事、業績とは実質的に異なる場合があります。

RF MICRO DEVICES® および RFMD® は RFMD, LLC の商標である。その他の商品名、商標、登録商標はそれぞれの所有者の財産である。

###